



2022年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月15日
東

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所
 コード番号 9632 URL <https://subaru-kougou.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 松丸 光成 (TEL) (03)3213-2861
 定時株主総会開催予定日 2022年4月26日 配当支払開始予定日 2022年4月27日
 有価証券報告書提出予定日 2022年4月26日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期の連結業績 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期	28,977	5.5	4,207	3.9	4,451	8.0	2,999	13.8
2021年1月期	27,460	0.9	4,048	△1.0	4,121	△0.2	2,635	△17.1

(注) 包括利益 2022年1月期 3,002百万円 (14.1%) 2021年1月期 2,632百万円 (△17.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年1月期	1,166.64	—	10.9	13.5	14.5
2021年1月期	1,025.55	—	10.3	13.2	14.7

(参考) 持分法投資損益 2022年1月期 ー百万円 2021年1月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期	34,113	28,693	83.8	11,120.19
2021年1月期	31,819	26,542	83.1	10,296.59

(参考) 自己資本 2022年1月期 28,601百万円 2021年1月期 26,454百万円

3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月期	3,528	△697	△891	12,322
2021年1月期	2,923	△1,959	△1,019	10,382

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年1月期	—	100.00	—	240.00	340.00	873	33.2	3.4
2022年1月期	—	100.00	—	260.00	360.00	925	30.9	3.4
2023年1月期(予想)	—	130.00	—	130.00	260.00		24.7	

(注) 期末配当金の内訳 2021年1月期 普通配当金100円 特別配当 90円 記念配当50円
 2022年1月期 普通配当金100円 特別配当160円

3. 2023年1月期の連結業績予想 (2022年2月1日～2023年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,780	△4.1	4,034	△4.1	4,096	△8.0	2,707	△9.7	1,052.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期	2,662,000株	2021年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期	89,930株	2021年1月期	92,792株
③ 期中平均株式数	2022年1月期	2,570,760株	2021年1月期	2,569,502株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、ワクチン接種の促進等による各種政策の効果もあり、一部で持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株の出現による感染拡大により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、3カ年計画『中期経営戦略2019-2022 TRY! 2022』の最終年度にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底したうえで、売上高280億円、営業利益35億円の目標達成に向け、各事業において業績の向上に努めました結果、当連結会計年度における売上高は289億7千7百万円（前期比5.5%増）、営業利益は42億7百万円（前期比3.9%増）、経常利益は44億5千1百万円（前期比8.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は29億9千9百万円（前期比13.8%増）となり、当初掲げた目標値を上回ることができました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

(道路関連事業)

道路関連事業は、政府による防災・減災、国土強靱化対策をはじめとする関連予算の執行により、公共投資が底堅く推移しましたが、業界全体における人手不足や、労務費・資機材価格が上昇する等、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、積算精度の向上や総合評価方式への対応強化により維持作業・補修工事の継続的な受注に努めると共に、積極的な技術提案等を行い既存工事の増工を図りました。また、安全衛生管理に重点を置き、頻発化する自然災害等の緊急応急業務にも迅速に対応すべく、安定した施工体制を堅持し、収益の向上に努めました結果、売上高は261億2千9百万円（前期比5.4%増）、セグメント利益は44億6千5百万円（前期比2.3%増）となりました。

(レジャー事業)

飲食部門は、緊急事態宣言が解除された10月以降に緩やかな回復基調がみられたものの、長期間にわたる営業時間の短縮や消費者の外出自粛傾向により、事業環境は極めて厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、飲食店においてテイクアウトやデリバリー販売、SNSを通じたキャンペーン情報等の発信強化により集客増に努め、また物品販売においてエナジードリンクの販売が好調に推移したこともあり、売上高は前期を上回りました。

なお、期中1月に『ラ・ベルデ 大手町店』（東京都千代田区）を閉店したことにより、当連結会計年度末現在の飲食店舗数は7店舗となりました。

マリナー部門は、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』における年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移したことに加え、船舶用燃料販売の増加や観光船利用者の増加等により、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は20億8千2百万円（前期比6.9%増）、セグメント利益は8千3百万円（前期比72.1%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、計画的に所有物件の点検・修繕を行いテナントの安心・安全に配慮した施設管理に努めました。

『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が概ね堅調に稼働し、前期に取得した賃貸物件が寄与したこともあり、売上高は7億6千4百万円（前期比6.4%増）、セグメント利益は4億8千万円（前期比16.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、未成工事支出金の減少等がありましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ22億9千3百万円増の341億1千3百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円増の54億1千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ21億5千1百万円増の286億9千3百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比べ19億4千万円増加し、123億2千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、35億2千8百万円（前年同期比6億4百万円増）となりました。これは主に売上債権の増加7億9千1百万円、法人税等の支払額13億8千3百万円等により資金の減少があったものの、税金等調整前当期純利益44億8百万円、減価償却費5億8千9百万円、たな卸資産の減少5億6千4百万円、仕入債務の増加2億5千6百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、6億9千7百万円（前年同期は19億5千9百万円の資金減）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、8億9千1百万円（前年同期は10億1千9百万円の資金減）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループに次期の見通しにつきましては、売上高277億8千万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は、40億3千4百万円（前年同期比4.1%減）、経常利益40億9千6百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、27億7百万円（前年同期比9.7%減）を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息時期については、現時点では見通しが不透明であります。主力の道路事業における道路の維持管理業務の需要が継続されており、通期業績が大きく下振れすることはないと考えております。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性や、事業内容等を踏まえ、日本基準を適用しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を勘案の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,387,569	12,327,637
受取手形及び売掛金	6,124,051	6,915,812
商品	54,470	60,212
未成工事支出金	1,041,152	478,396
原材料及び貯蔵品	142,885	135,810
短期貸付金	1,000	—
その他	70,663	224,405
貸倒引当金	△30,882	△28,291
流動資産合計	17,790,911	20,113,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,244,728	2,286,131
機械装置及び運搬具(純額)	1,437,787	1,397,070
土地	7,673,525	7,776,161
リース資産(純額)	11,470	8,214
建設仮勘定	25,000	—
その他(純額)	111,679	109,645
有形固定資産合計	11,504,191	11,577,224
無形固定資産		
のれん	480,053	406,198
その他	60,104	48,610
無形固定資産合計	540,157	454,809
投資その他の資産		
投資有価証券	294,182	272,467
繰延税金資産	268,521	289,499
差入保証金	788,315	774,963
保険積立金	496,484	522,592
その他	352,771	108,739
貸倒引当金	△215,570	△1,183
投資その他の資産合計	1,984,705	1,967,078
固定資産合計	14,029,054	13,999,112
資産合計	31,819,965	34,113,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,670,046	1,926,409
リース債務	15,709	15,370
未払法人税等	719,528	780,340
賞与引当金	133,946	136,912
役員賞与引当金	23,400	24,905
資産除去債務	2,200	—
その他	1,724,242	1,599,936
流動負債合計	4,289,072	4,483,874
固定負債		
リース債務	44,469	29,098
繰延税金負債	4,022	1,250
退職給付に係る負債	273,129	279,024
資産除去債務	234,271	250,022
その他	432,874	376,407
固定負債合計	988,766	935,803
負債合計	5,277,839	5,419,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,288,055
利益剰余金	24,203,694	26,328,990
自己株式	△354,786	△346,188
株主資本合計	26,453,718	28,601,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372	52
その他の包括利益累計額合計	372	52
非支配株主持分	88,035	91,509
純資産合計	26,542,125	28,693,418
負債純資産合計	31,819,965	34,113,097

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
売上高	27,460,340	28,977,078
営業費用	21,620,566	22,938,843
売上総利益	5,839,774	6,038,234
一般管理費	1,791,574	1,830,874
営業利益	4,048,200	4,207,359
営業外収益		
受取利息	881	561
受取配当金	5,888	6,386
為替差益	—	1,206
固定資産売却益	3,306	919
貸倒引当金戻入額	—	35,129
受取保険金	14,866	11,672
受取補償金	12,607	1,150
助成金収入	15,683	160,430
その他	25,637	29,300
営業外収益合計	78,872	246,757
営業外費用		
為替差損	612	—
その他	4,918	2,202
営業外費用合計	5,530	2,202
経常利益	4,121,541	4,451,914
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,500
保険解約戻金	51,448	755
受取和解金	200,000	—
特別利益合計	251,448	6,255
特別損失		
固定資産売却損	6,773	—
減損損失	324,590	49,695
固定資産圧縮損	153,571	—
特別損失合計	484,934	49,695
税金等調整前当期純利益	3,888,055	4,408,474
法人税、住民税及び事業税	1,365,293	1,429,389
法人税等調整額	△113,718	△23,607
法人税等合計	1,251,574	1,405,781
当期純利益	2,636,480	3,002,693
非支配株主に帰属する当期純利益	1,330	3,553
親会社株主に帰属する当期純利益	2,635,150	2,999,139

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
当期純利益	2,636,480	3,002,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,160	△320
その他の包括利益合計	△4,160	△320
包括利益	2,632,320	3,002,372
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,630,989	2,998,819
非支配株主に係る包括利益	1,330	3,553

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,331,000	1,273,811	22,570,721	△350,503	24,825,029
当期変動額					
剰余金の配当			△1,002,177		△1,002,177
親会社株主に帰属する当期純利益			2,635,150		2,635,150
自己株式の取得				△4,283	△4,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,632,972	△4,283	1,628,689
当期末残高	1,331,000	1,273,811	24,203,694	△354,786	26,453,718

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,532	4,532	86,784	24,916,345
当期変動額				
剰余金の配当				△1,002,177
親会社株主に帰属する当期純利益				2,635,150
自己株式の取得				△4,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,160	△4,160	1,251	△2,909
当期変動額合計	△4,160	△4,160	1,251	1,625,780
当期末残高	372	372	88,035	26,542,125

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,331,000	1,273,811	24,203,694	△354,786	26,453,718
当期変動額					
剰余金の配当			△873,843		△873,843
親会社株主に帰属する当期純利益			2,999,139		2,999,139
自己株式の取得				△4,441	△4,441
自己株式の処分		14,244		13,039	27,284
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	14,244	2,125,296	8,598	2,148,139
当期末残高	1,331,000	1,288,055	26,328,990	△346,188	28,601,857

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	372	372	88,035	26,542,125
当期変動額				
剰余金の配当				△873,843
親会社株主に帰属する当期純利益				2,999,139
自己株式の取得				△4,441
自己株式の処分				27,284
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△320	△320	3,473	3,153
当期変動額合計	△320	△320	3,473	2,151,292
当期末残高	52	52	91,509	28,693,418

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,888,055	4,408,474
減価償却費	606,675	589,082
減損損失	324,590	49,695
のれん償却額	73,854	73,854
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43,330	△216,977
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,094	2,966
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,330	1,505
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,326	5,894
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,538	△919
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△5,500
固定資産圧縮損	153,571	—
受取利息及び受取配当金	△6,770	△6,947
為替差損益 (△は益)	612	△1,206
保険解約返戻金	△51,448	△755
受取和解金	△200,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△252,568	△791,761
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△102,698	564,088
仕入債務の増減額 (△は減少)	△105,990	256,336
未払消費税等の増減額 (△は減少)	27,816	△36,807
その他	77,908	14,281
小計	4,405,568	4,905,304
利息及び配当金の受取額	6,745	6,918
和解金の受取額	200,000	—
法人税等の支払額	△1,688,557	△1,383,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,923,756	3,528,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	12,048	—
有形固定資産の取得による支出	△3,328,536	△743,566
有形固定資産の売却による収入	10,495	4,113
投資有価証券の売却による収入	—	26,783
貸付けによる支出	△1,200	—
貸付金の回収による収入	1,200,849	130
保険積立金の積立による支出	△81,638	△88,114
保険積立金の解約による収入	242,667	60,988
その他	△14,534	41,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,959,847	△697,692
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4,283	△4,441
配当金の支払額	△999,683	△871,488
非支配株主への配当金の支払額	△79	△79
その他	△15,197	△15,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,243	△891,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	△618	1,233
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55,952	1,940,068
現金及び現金同等物の期首残高	10,438,522	10,382,569
現金及び現金同等物の期末残高	10,382,569	12,322,637

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、道路関連事業、レジャー事業、不動産事業を営んでおり、これを当社グループの報告セグメントとしております。

「道路関連事業」は、道路の維持清掃・維持補修工事、高速道路施設の受託運營業務及び太陽光発電事業を行っております。

「レジャー事業」は、飲食、物販などの顧客サービス事業及びマリーナの管理運営を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,792,680	1,948,739	718,921	27,460,340	—	27,460,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	546,860	49,077	595,937	△595,937	—
計	24,792,680	2,495,599	767,998	28,056,278	△595,937	27,460,340
セグメント利益	4,367,317	48,314	411,499	4,827,130	△778,930	4,048,200
セグメント資産	17,798,793	1,316,679	7,232,506	26,347,978	5,471,986	31,819,965
その他の項目						
減価償却費	424,257	89,192	82,577	596,027	10,648	606,675
減損損失	260,560	64,029	—	324,590	—	324,590
のれんの償却額	73,854	—	—	73,854	—	73,854
のれんの未償却残高	480,053	—	—	480,053	—	480,053
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	549,746	67,677	2,702,065	3,319,489	1,761	3,321,251

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△778,930千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額5,471,986千円は、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び総務・経理等管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,129,740	2,082,428	764,909	28,977,078	—	28,977,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	608,157	71,827	679,985	△679,985	—
計	26,129,740	2,690,586	836,737	29,657,063	△679,985	28,977,078
セグメント利益	4,465,639	83,127	480,429	5,029,196	△821,836	4,207,359
セグメント資産	18,385,602	1,293,061	7,389,649	27,068,313	7,044,783	34,113,097
その他の項目						
減価償却費	427,792	66,511	86,292	580,596	8,485	589,082
減損損失	—	49,695	—	49,695	—	49,695
のれんの償却額	73,854	—	—	73,854	—	73,854
のれんの未償却残高	406,198	—	—	406,198	—	406,198
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	364,775	59,986	277,135	701,898	1,996	703,895

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△821,836千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,044,783千円は、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び総務・経理等管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
1株当たり純資産額	10,296.59円	11,120.19円
1株当たり当期純利益	1,025.55円	1,166.64円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,635,150	2,999,139
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,635,150	2,999,139
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,569,502	2,570,760

(重要な後発事象)

該当事項はありません。